

## 第4回中土佐タッチエコトライアスロン

第一コンサルタンツ社長 右城 猛

第4回目となる中土佐タッチエコトライアスロンが、中土佐町の「ふるさと海岸」で開催された。この大会は、2015 中国・四国ブロックサーキット大会最終戦も兼ねている。スイム 1.5km、バイク 40.9km、ラン 10km、合計 52.4km のスタンダードディスタンスである。制限時間はスイム 50 分、バイク 170 分、ラン 240 分、合計 4 時間。

第一コンサルタンツでは、第2回よりスポンサーとしてこの大会に協賛している。昨年の第2回には、リレーの部に明神怜佳、那須太郎、吉田直起のチームで参加し、2 時間 29 分 58 秒で初出場ながら第5位であった。

今年は個人の部に西川徹部長が出場した。リレーの部には、高知大学の原研究室との連合で 2 チームが出場した。高知大学からは石川諒がバイク、中田悠貴がスイム、第一コンサルタンツからは尾崎勝彦がスイム、那須太郎がバイク、吉田直起と仁平隆太がランで出場した。

今年の参加申込者は男性個人の部 222 名、女性個人の部 35 名、リレーの部 27 チームであった。昨年に比べて個人の部が 60 名、リレーの部が 10 チーム増えている。

海水温が少し低いものの、曇り空で絶好のトライアスロン日和に恵まれた。



第一コンサルタンツ・高知大学原研究室連合チームの選手と私たち夫婦。



第一コンサルタント・高知大学原研究室連合 B チームのスイムとして出場した中田悠貴さん。プールでは練習しているが海で練習していないので不安と話されていたが、29:36のタイムで区間順位は8位と立派な成績。



中田君に続いて、尾崎君が陸上に上がってきた。ラップは30:34で区間第10位。水泳中に3人がけいれんを起こして水上スクーターで搬送された。海水の水温が低いため低体温症になりやすいようである。



大会のスポンサーとしての私の役割の一つが、スイムのスタートの合図を送る役。第1ウェーブがスタートする9時30分、第2ウェーブがスタートを切る9時32分、第3ウェーブがスタートを切る9時34分にエアホーンを鳴らすことであった。



最後に西川部長が陸にあがってきた。波乗りと泳ぐのでは要領が少し違うようである。



エアホーンの合図で、第1ウェーブの出場者が一斉にスタートを切った。



那須君は高校で競輪部にいただけあって早い。バイクラップは1:10:19で区間第5位。



堀江貴文さんは、Japan Speed の仲間 10 人を引き連れて東京から参加。バイクのラップは 1:12:34 で区間第 17 位。自転車は学生時代にやっていて得意のようである。なお、スイムは 46:28 で区間 193 位。ランは 52:48 で区間 93 位。



第一コンサルタンツ・高知大学原研究室連合 A チームのバイクとして出場した石川諒さん。ラップは 1:16:33 で区間第 10 位。



バイクは得意の西川部長。



弘田部長は夫婦で応援に駆けつけた。



高知大学原研究室出身の北村君も応援に駆けつけた。



中平君の走りは軽快。ラップは 35:11. 40 秒差で惜しくも区間第 2 位。



吉田君の走りも軽快。ラップタイムは 41:18 秒で区間第 5 位。



第一コンサルタント・高知大学原研究室連合 B チームは 2:15:06 でゴール。リレーの部第 5 位。



インタビューに応える A チームのメンバー。



本山町役場建設課の右城伸さん。私の小中学校の同級生のご子息。32位の 2:32:09 でゴール。



第一コンサルタント・高知大学原研究室連合 A チームは 2:28:25 でリレーの部第 6 位。



堀江貴文さんは、総合記録は 2:51:50 の 101 位でゴール。



A チームのメンバー。



超多忙な人なのに、すごい。



堀江さんに始めて会ったが、すごく感じがいい。写真をお願いすると快諾してくれた。

堀江さんの本「ゼロ」を読んですっかりファンになっていた。特に、下記の一節は頭にこびりついている。

「無理、出来ないと考えるのは自信の問題。自信を形成するための経験が圧倒的に不足している。経験とは経過した時間ではなく、自ら足を踏み出した歩数によってカウントされていく」



西川部長は膝を痛めて走るのが苦しそう。



第一コンサルタンツの社員と手をつなぎ、3:17でゴール。



完走して大喜び。笑いをこらえることができない。



久保博道県議も膝を痛め辛そう。



制限時間ギリギリに、中土佐町の池田町長、佐竹町議と手をつないでゴール。



久保県議の根性には頭が下がる。



スポンサーとしての私の2番目の務めは、プレゼンター。区間賞(スイム、バイク、ラン)、最高齢完走者賞、高知県賞(男性、女性)の賞状と景品を授与。



池田洋光大会会長による閉会の挨拶。



景品をもらった選手の顔には満面の笑み。



船井孝誠氏による大会終了宣言。



皆さん、お疲れ様でした。